

## 会計年度任用職員(事務補助)の年収等比較表

令和5年度(遡及前)

報酬単価 1,103円

週当たりの勤務時間	職員数 (R5.4.1時点)	年収	社会保険制度	保険料	手取り
15時間	68人	84万円			84万円
15.5時間	0人	105万円			105万円
20時間	0人	135万円	共済組合、厚生年金	22万円	113万円
35時間	0人	237万円	共済組合、厚生年金	39万円	198万円

令和5年度(遡及後)※

報酬単価 1,186円

週当たりの勤務時間	職員数 (R5.4.1時点)	年収	社会保険制度	保険料	手取り
15時間	68人	91万円			91万円
15.5時間	0人	113万円			113万円
20時間	0人	146万円	共済組合、厚生年金	22万円	124万円
35時間	0人	255万円	共済組合、厚生年金	39万円	216万円

※ 遡及分の差額は令和6年の収入として支給あり、令和5年収入には影響しない。

令和6年度(勤勉手当反映済)

報酬単価 1,186円

週当たりの勤務時間	職員数 (R5.4.1時点)	年収	社会保険制度	保険料	手取り
15時間	68人	91万円			91万円
15.5時間	0人	130万円	国民健康保険、国民年金	30万円	100万円
20時間	0人	166万円	共済組合、厚生年金	25万円	141万円
35時間	0人	291万円	共済組合、厚生年金	45万円	246万円

※ 職員数は、令和5年4月1日から任期が1年間ある事務補助の人数となっている。

議案第22号

日進市高等学校等修学助成制度について

1 目的

教育の機会均等および人材の育成に寄与するため、経済的理由により高等学校等の修学が困難な状況にある生徒を対象に、修学に必要な資金を助成する制度。

2 対象者

次の(1)から(3)までのすべてに該当する人

(1) 高等学校等に在学する人

※高等学校等とは学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する高等学校、中等教育学校（後期課程に限る。）、高等専門学校及び専修学校（修業年限が3年以上の高等課程に限る。）をいう。

(2) 生徒とその保護者が、助成金の交付を受けようとする年度の5月1日に日進市に住所を有する人

(3) 経済的理由により修学困難であり、保護者の合算所得が以下の区分に該当する人

所得区分	年収目安	所得基準
I	生活保護 非課税	生活保護法(昭和25年法律第144号)による被保護世帯に属する者 又は当該年度の市町村民税所得割額が非課税の者
II	350万円 未満	Iに該当する場合を除き、当該年度の課税所得額(課税標準額)に100分の6を乗じた額から、市町村民税の調整控除額(政令指定都市は当該額の4分の3を乗じた額)を控除した額の合算が51,300円未満の者

3 助成金額

		国公立高等学校		私立高等学校	
	所得区分	I	II	I	II
令和3年度	助成金額	31,000円	60,000円	43,000円	74,000円
令和4年度		30,000円	61,000円	42,000円	75,000円
令和5年度		27,000円	61,000円	39,000円	75,000円

※令和6年度は令和5年度と同額で計上

4 交付実績

		国公立高等学校		私立高等学校		合計
	所得区分	I	II	I	II	
令和3年度	交付人数	26名	8名	65名	43名	142名
	交付額	1,286,000円		5,977,000円		7,263,000円
令和4年度	交付人数	24名	18名	64名	34名	140名
	交付額	1,818,000円		5,238,000円		7,056,000円
令和5年度	交付人数	26名	14名	53名	33名	126名
	交付額	1,556,000円		4,542,000円		6,098,000円



議案第22号

令和6年度 児童生徒数及びクラス数について

小学校	学年 学級編成	1年 35人	2年 35人	3年 35人	4年 35人	5年 35人	6年 35人	計①	利用可能 教室②	差 ②-①	
西小	R6	児童数	146	139	134	123	112	123	777	26	1
		クラス数	5	4	4	4	4	4	25		
		特支児童数	7	6	3	5	2	5	28		
		特支クラス数							4		
東小	R6	児童数	85	88	109	106	87	114	589	22	1
		クラス数	3	3	4	4	3	4	21		
		特支児童数	1	2	5	2	3	6	19		
		特支クラス数							2		
北小	R6	児童数	90	103	89	92	82	117	573	26	7
		クラス数	3	3	3	3	3	4	19		
		特支児童数	0	4	3	1	4	2	14		
		特支クラス数							2		
南小	R6	児童数	143	135	159	126	160	154	877	33	5
		クラス数	5	4	5	4	5	5	28		
		特支児童数	5	13	5	4	7	6	40		
		特支クラス数							5		
相野山小	R6	児童数	41	38	39	40	42	39	239	15	3
		クラス数	2	2	2	2	2	2	12		
		特支児童数	2	0	1	0	3	0	6		
		特支クラス数							2		
香久山小	R6	児童数	129	124	149	147	118	108	775	31	5
		クラス数	4	4	5	5	4	4	26		
		特支児童数	3	7	5	4	3	7	29		
		特支クラス数							5		
梨の木小	R6	児童数	120	128	125	129	121	107	730	27	3
		クラス数	4	4	4	4	4	4	24		
		特支児童数	1	1	3	1	2	1	9		
		特支クラス数							2		
赤池小	R6	児童数	142	147	164	137	131	143	864	30	2
		クラス数	5	5	5	4	4	5	28		
		特支児童数	2	10	8	6	6	0	32		
		特支クラス数							2		
竹の山小	R6	児童数	72	96	103	98	102	104	575	26	8
		クラス数	3	3	3	3	3	3	18		
		特支児童数	2	3	5	1	3	4	18		
		特支クラス数							5		

令和6年3月7日 予算決算委員会総務文教分科会  
学習政策課

中学校	学年 学級編成	1年 35人	2年 40人	3年 40人	計①	利用可能 教室②	差 ②-①	
日進中	R6	生徒数	242	233	244	719	23	3
		クラス数	7	6	7	20		
		特支児童数	7	4	6	17		
		特支クラス数				2		
日進西中	R6	生徒数	342	271	297	910	32	7
		クラス数	10	7	8	25		
		特支児童数	9	3	0	12		
		特支クラス数				2		
日進東中	R6	生徒数	287	203	221	711	24	3
		クラス数	9	6	6	21		
		特支児童数	6	4	3	13		
		特支クラス数				1		
日進北中	R6	生徒数	184	182	148	514	18	3
		クラス数	6	5	4	15		
		特支児童数	3	3	5	11		
		特支クラス数				1		

- ・令和6年度の児童生徒数は、令和5年度(R6.2.1時点)の児童生徒が進級すると想定し計上しています。
- ・中学1年生については、私立に5%進学と見込んで算出しています。
- ・中学1年生については、香久山小学校から日進西中へ50%、日進北中へ50%で算出しています。